

令和元年度進行管理・評価シート
盛岡市 歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 盛岡市景観計画との連携	2
2 盛岡市屋外広告物条例との連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 旧第九十銀行本店本館保存修理事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 歴史的風致形成建造物維持管理事業	6
4 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
5 盛岡城跡保存整備事業	8
6 市内民俗芸能・祭礼継承支援事業	9
7 無形民俗文化財継承支援事業	10
8 歴史的建造物調査事業	11
9 歴史文化資源情報発信事業	12
10 地場・伝統産業振興事業	13
11 盛岡小さな博物館事業	14
12 無電柱化事業	15
13 大慈寺地区街なみ環境整備事業	16
14 高松公園整備事業	17
15 環境保護地区維持管理事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存及び活用の現状と今後の方針	19
2 文化財の防災に関する方針	20
3 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
-------------------------	-------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、事業推進に関係の深い景観政策課と歴史文化課が中心となり、庁内横断的な連携を図りながら、計画の効果的な推進を図るものとする。また、計画策定後も定期的に協議会を開催し、事業の進捗状況の報告確認や、事業の円滑な実施に係る連絡調整、計画変更に伴う協議を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事務局の景観政策課と歴史文化課が連携して事業を推進している。 歴史まちづくりに関する庁内会議 計2回実施 令和2年2月17日 第1回盛岡市景観審議会を開催 令和2年3月25日 第1回盛岡市歴史的風致維持向上協議会を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
令和元年度 第1回盛岡市景観審議会			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
盛岡市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上を図る上で必要な景観形成に関連する事業の推進を図りながら、市民の合意形成のもと、「景観地区」、「地区計画」等の都市計画制度等の活用を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観形成に対する市民の意識の高揚を図るための啓発事業として、都市景観賞及び景観シンポジウムを開催した。また、景観地区内において9件の認定申請があり、景観誘導を図った(令和2年1月末現在)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和元年度盛岡市都市景観賞受賞 2件			
			
鉾屋町のゲストハウス		もりおか往診ホームケアクリニック	
第43回盛岡市都市景観シンポジウム			
			
基調講演		パネルディスカッション	
令和元年度景観地区内建築計画認定申請状況			
	新築・増築・新設	外観変更	計
認定申請件数	8	1	9
通知件数	0	0	0
合計	8	1	9

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
盛岡市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上のため、今後も、盛岡市屋外広告物条例の周知に取り組みつつ、市民・事業者に対して意識の向上を図り、良好な景観の保全と形成を目指していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
周知啓発活動として盛岡ふれあい覆馬場プラザを会場に岩手広告景観タウンミーティングを共催したほか、今年度中に不動産業者の業界団体に対する違反はり紙に関する注意喚起、町内会・自治会に対する危険広告物に関する注意喚起を予定している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
岩手広告景観政策課タウンミーティングの様子。行政・屋外広告業者と地域住民等と一緒に屋外広告物を通じて景観について考える機会となった。 5班に分かれてまち歩きを行った後、班ごとに発表を行った。			
			
まち歩きの様子		ワークショップの様子	
			
ワークショップの様子		発表の様子	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
旧第九十銀行本店本館保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財である旧第九十銀行本店本館（もりおか啄木・賢治青春館）を適切に維持管理するとともに、建物修復整備を行う。また、建造物周辺（指定範囲外）の門柱等の修景整備等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧第九十銀行本店本館（もりおか啄木・賢治青春館）を指定管理により適切に維持管理を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>(位置図)</p>			
 <p>旧第九十銀行本店本館（もりおか啄木・賢治青春館）</p>			

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
歴史的風致形成建造物保存整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業), 市単独事業

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定されている紺屋町番屋, 市指定文化財である石川啄木新婚の家について, 歴史的風致形成建造物に指定した上で, 維持保全と利活用の推進を図るため, 建物の改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定景観重要建造物である紺屋町番屋及び市指定文化財に指定されている啄木新婚の家について, 歴史的風致形成建造物に指定し街なか観光の重要な資源として, 維持保全を図った。
紺屋町番屋については改修事業を推進し, 改修工事に係る実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



(位置図)



紺屋町番屋



啄木新婚の家

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
歴史的風致形成建造物維持管理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業), 市単独事業

計画に記載している内容 市所有の景観重要建造物である「旧宣教師館」・「御蔵」・「旧覆馬場練兵場」, 保護庭園「一ノ倉邸」について, 歴史的風致形成建造物に指定した上で, 保存修理等を行うとともに, 適切かつ円滑な維持管理と建物の公開・活用等を積極的に推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観重要建造物である「旧宣教師館」・「御蔵」について, 地元町内会へ管理業務委託をし, 一般公開を行いながら活用をしている。「旧覆馬場練兵場」については指定管理にて交流施設として活用を行っている。保護庭園「一ノ倉邸」は, イベント等を実施しながら歴史的環境にふれる場として一般公開している。
「御蔵」は今年度外壁修繕を行い, また, 歴史的風致形成建造物に指定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

御蔵外壁修繕
修繕前



修繕後



旧宣教師館



盛岡ふれあい覆馬場プラザ



一ノ倉邸

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業), 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観等の保全に係る修理・修景整備を行う建物所有者に対し, 事業に係る経費の助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定について, 指定候補建造物に係る指定スケジュールを確認し順次指定していくこととした。指定順については景観審議会等に報告し, 了承を得ている。
 修景について意向がある所有者と打ち合わせを行い, スケジュールや指定についての協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



塩重商店



旧井弥商店

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
盛岡城跡保存整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和9年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業), 市単独事業

計画に記載している内容 史跡盛岡城跡と岩手公園(愛称:盛岡城跡公園)の歴史的価値と象徴性を高めるため, 各種調査を行いながら, 石垣修復や遺構整備のほか, 公園施設整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

石垣変位調査(継続), 鶴ヶ池等樹木伐採, 遺構等測量図化, 発掘調査, 整備委員会開催, 文化庁・整備委員との協議, 吹上坂石垣養生(設計含む), ニノ丸樹木修正伐採を実施した。また, 盛岡城本丸地区発掘調査(175㎡)の実施, 発掘調査現場の公開(のべ500人来跡)発掘調査現地説明会の開催(200人来跡)を行った。
 本丸天守櫓台を中心に発掘調査を実施し, 天守櫓の基礎の残存状況や明治期の公園整備による石垣の改変状況について確認することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

【課題】工事入札が不調・不落となり未了のため, 第1期整備計画が遅延している。
 【対応】工事発注時期の検討, 受注業者選定の検討。
 盛岡城本丸地区の内容把握を進め, 調査成果の公開等に努めるとともに, 整備内容の検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

史跡盛岡城跡整備基本計画第I期(H25~R4)整備平面図



発掘調査・遺構等測量図化



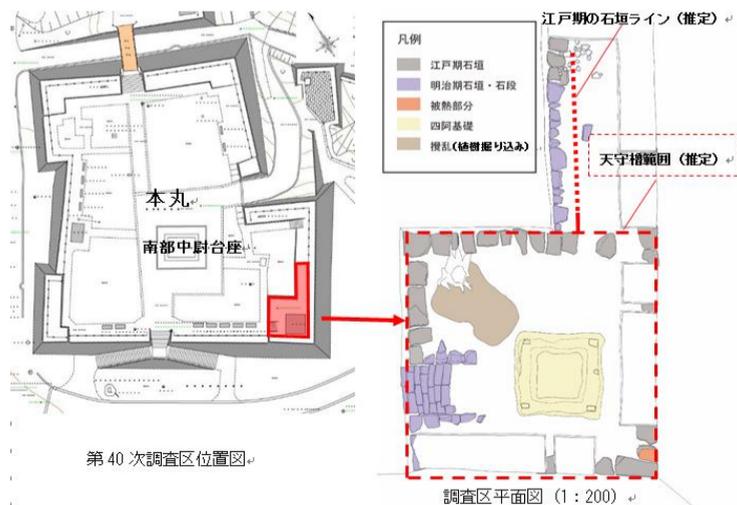
鶴ヶ池等樹木伐採



発掘調査の状況



現地説明会の様子



調査範囲と概略図

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
市内民俗芸能・祭礼継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	チャグチャグ馬コの装束や、盛岡八幡宮の山車行事で使われる山車の修理・更新等のほか、舟っこ流しや盛岡さんさ踊りなどの行事を次世代に継承していくための講習会や情報発信の機会などを設ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コ、盛岡八幡宮の山車行事、舟っこ流しについて、行事が継承されるよう運営経費の一部を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>チャグチャグ馬コ</p>		 <p>盛岡さんさ踊り</p>	
 <p>舟っこ流し</p>		 <p>盛岡八幡宮の山車行事</p>	

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	地域文化財総合活用推進事業		
計画に記載している内容	市内各地に所在する無形民俗文化財の保存・継承のため、用具等の更新支援を行うとともに、後継者の確保・育成を図るため、青少年による発表の場を設ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年8月31日、無形民俗文化財(郷土芸能)の伝承活動の成果を披露する場として、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会の主催により、肴町アーケード内で盛岡市青少年郷土芸能フェスティバルを開催。7団体、約120人が出演。のべ2220人の観覧者があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無形民俗文化財の保存・継承のため、継続的に支援を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="214 1122 910 2001" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1162 1673 1660" data-label="Image"> </div> </div>			
ポスター			
発表の様子(黒川田植え踊り)			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内における未指定・未登録の歴史的建造物の保存・活用を推進するため、建造物の構造や来歴の調査を、設計事務所やまちづくりNPO団体等に依頼し、歴史的風致形成建造物の指定を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地方指定や未指定の有形文化財(建造物)について、構造や来歴とともに、損傷などの程度を確認するための調査を実施。 令和元年度は、原敬生家(重点区域外)を対象に調査を実施することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建造物の歴史的価値を知るとともに、適切に保存が図られるよう、継続的に調査を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
原敬生家			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史文化資源情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の周辺など、来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルートなどに関する案内板及び説明板等の新設・更新・修繕を行うほか、解説パンフレット等を作成する。なお、案内板・説明板の整備、パンフレットの作成に当たっては、多言語化や通信機器との対応を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の所在や内容を説明するための標柱や説明板を新設、更新等について、継続的に実施しているもの。令和元年度は、市指定文化財となっている下ノ橋擬宝珠および国指定天然記念物シダレカツラ(大ヶ生、瀧源寺境内所在)の説明板を更新し、国指定天然記念物シダレカツラ(門所在)の標柱を更新することとした。また、歴史的建造物の周辺など来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルートに関する周知パンフレットの増刷を行い、周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

指定文化財の普及啓蒙を推進するため、継続的に事業を進める必要がある。外国人観光客等への周知を図るため、多言語化に対応する必要がある。

状況を示す写真や資料等



下ノ橋と擬宝珠



シダレカツラ(門)



シダレカツラ(大ヶ生)



パンフレット表紙



歴史文化資産の紹介



パンフレット裏表紙

スマホ・タブレットで「盛岡観光ガイドブック」が多言語で読める! しゃべる!! 無料アプリ「Catalog Pocket」をインストールし「MORIOKA」で検索!

Download the free app "Catalog Pocket" to your smartphone or tablet, click the Q on the top screen and search for "morioka".

YouTube スマートフォン
タブレットで
動画が見られます

二次元コードの下にYouTubeマークがあるものは、あらかじめYouTubeアプリをインストールしておくことで、動画をご覧いただけます。

多言語化・通信機器との対応



観光コース紹介

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
地場・伝統産業振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本県を代表する伝統的工芸品である南部鉄器は、技術の継承が課題となっていることから、後継者育成のため若手職人による展示会を開催するなど、伝統産業の保護・育成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
当市の伝統的工芸品等の職人育成を支援し、技術・技法の継承を図るため、南部鉄器協同組合青年部と連携し、若手職人による青年展等をもりおか歴史文化館で開催しており、平成30年度は4,100人、令和元年度は4,283人の入場者数であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統的工芸品の後継者育成には、技術の継承が課題になる等期間を要することから、継続して支援していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="224 1122 884 1982"> </div> <div data-bbox="994 1106 1590 1973"> <p>コンクール審査</p> <p>展示</p> </div> </div>			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
盛岡小さな博物館事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な産品等を製造・販売している店舗や工房を訪れた市民や観光客、修学旅行生等に対し、販売品の生産工程や技法の解説等を行うとともに、ホームページやパンフレット等による情報発信を進め、周知を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
生産された製品や用具、関連した文献や資料について、市民や観光客、修学旅行生等に公開できる施設を小さな博物館に指定し、販売品の生産工程や技法の解説等を行っている。令和元年度は、ハンドブックを5,000部作成し、観光案内所や宿泊施設等に配布した。 小さな博物館数 平成30年度 24館、令和元年度 24館			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	産業観光を通じて、盛岡の特産品や地場産品に関する理解や関心を深めていき、産業振興を図るため、情報発信を充実させ周知を図る必要がある。		

状況を示す写真や資料等



盛岡小さな博物館ハンドブック(令和元年度作成)

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
無電柱化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 盛岡市歴史的街並み保存活用計画において、重点保存地区となっている大慈寺地区の歴史的景観を保全するため、電線共同溝整備事業等を推進する。

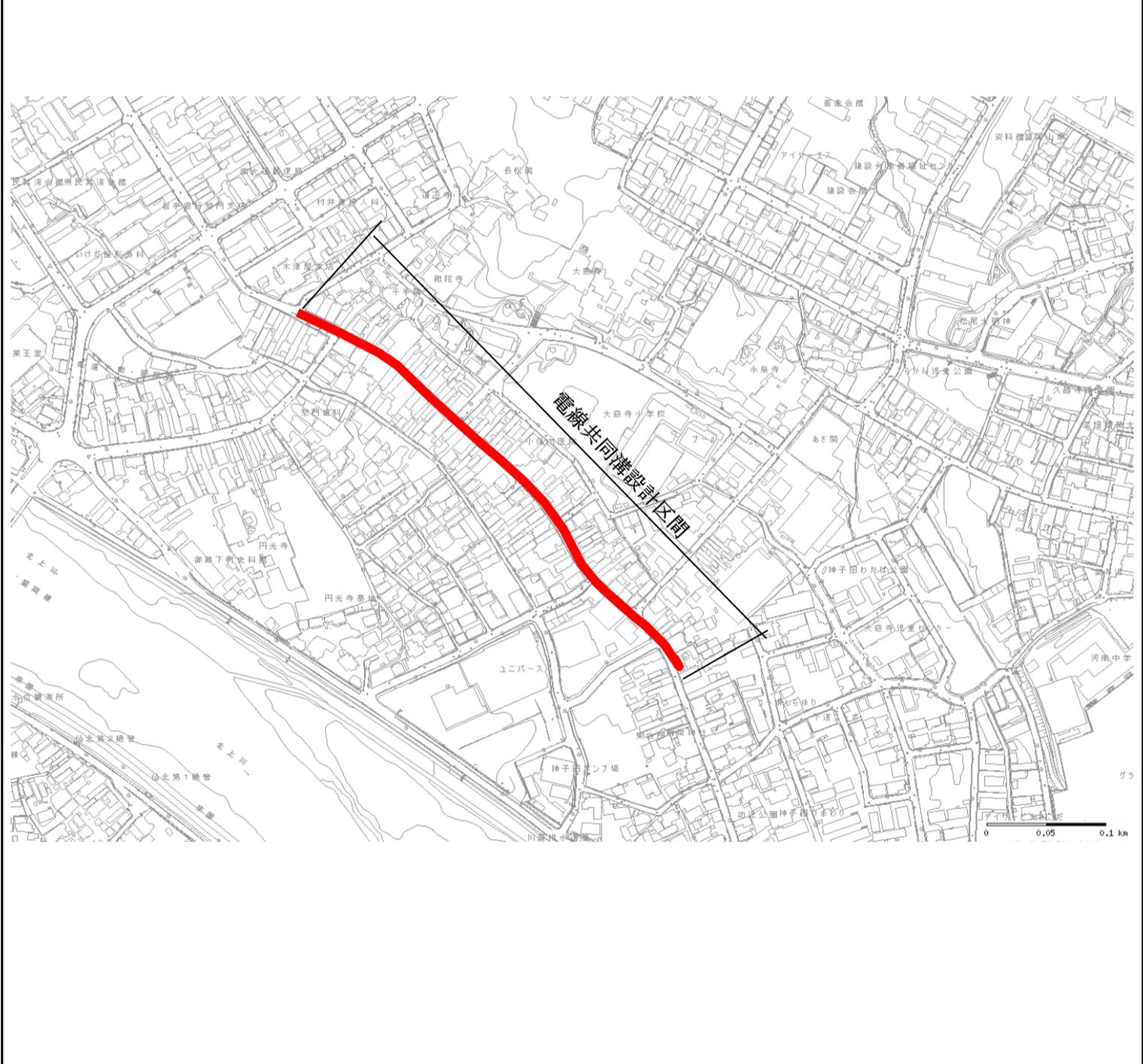
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無電柱化基本設計に基づき、既存ストックを有効活用した電線共同溝設計を実施した。
 街路灯及び融雪施設設計を含む道路詳細設計を実施した。
 電線共同溝地上機器用地確保のため沿線地権者に用地交渉を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 電線共同溝地上機器用地取得について、引き続き詳細条件等提示して進めていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
大慈寺地区街なみ環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業), 市単独事業		
計画に記載している内容	地区内に所在する盛岡の町家の改修とその他歴史的建造物等の保存修理を実施する事業者等に対し, 修理に係る経費の助成を行い, 連続性のある歴史的まちなみを活用した観光活用や賑わいづくりを促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
盛岡の歴史的街並みの保存及び活用を図るため, 重点保存地区において建築物所有者等が建築物の修景に係る工事に要する経費に対し, 盛岡市歴史的街並み整備事業補助金1件を交付した。 また, 盛岡市歴史的街並み保存活用基本計画に基づき, 盛岡市の新しい都市観光・伝統と暮らしを活かしたまちづくりに資することを目的として設置される盛岡市街並み保存活用推進協議会の活動に対し助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
盛岡市歴史的街並み整備事業補助金活用物件			
			
改修前			
			
改修後			
			
改修後			

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
高松公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和52年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園整備事業)

計画に記載している内容 江戸時代に造られた溜池を活用し、明治期に整備された公園の歴史的・文化的価値を高めるとともに、市民の憩いの場としての環境保全を図るため、池の堤体や便益施設の整備等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公園区域内の用地取得契約および移転補償契約5件を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和元年度用地取得面積 8,865.20㎡



評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
環境保護地区維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和47年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づき、市街地周辺の歴史的建造物とそれを取りまく環境を環境保護地区として指定している。これら保護地区の保全のため、固定資産税の減免等により、所有者の負担軽減を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
環境保護地区14地区について固定資産税の減免を行うことで、所有者の負担軽減を図り環境保全に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定から40年以上経過している個所が多数であり、地区内の保全について課題が多い。また、指定の継続や廃止について、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づき策定している盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画の改定に併せて検討していきたい。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の現状と今後の方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	国及び県、市の指定文化財は、所有者や管理者に対して、文化財保護法、岩手県文化財保護条例、盛岡市文化財保護条例及び関係法令に基づき、適切な維持・管理に関する指導・助言を行っている。 未指定の文化財については、所有者及び管理者と協議を行った上で対象物件の調査等を実施し、市文化財保護審議会に諮りながら文化財の価値を判断し、必要に応じて保存・活用に向けた取組を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
月1～3回の文化財パトロールにより、指定文化財及び説明板等の状況を確認。必要に応じて所有者に対し、維持管理に関する指導・助言を行っている。 また、天然記念物(樹木)については、円光寺の夫婦カツラを対象に樹勢診断を実施し、適切な管理方法等について助言を行った。 平成19年度に実施した近代和風建築悉皆調査の結果を踏まえ、現時点での利用状況等の調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財の調査を進めるとともに、指定文化財については所有者と連携し、文化財の適切な保護に努める。		
状況を示す写真や資料等			
			
円光寺の夫婦カツラ			

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	防火の面では、消防署の指導の下、文化財防火デーの実施や消防法で設置が義務付けられている防火設備の設置や点検等を行うほか、必要に応じて防火訓練等を実施するなどの予防対策をとるものとする。 また、地震への対応としては、盛岡城跡の石垣変位調査等を継続的に行い、地震による石垣の変動量と、今後の傾向を分析しながら石垣の保全を図るほか、文化財の構造に応じて耐震補強等を行い、き損等が発生しないよう日常の観測及び対策を講じるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第66回文化財防火デーに関連し、令和2年1月26日に大慈寺において火災防御訓練を実施するとともに、1月22日に盛岡八幡宮等を対象に、消防設備の特別査察を行った。 史跡盛岡城跡において、石垣の動態を観察するため、平成31年4月から令和2年3月までの期間で石垣辺地用さ業務委託を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を災害等から守るため、所有者が必要な措置を講ずることができるよう、消防等の査察、指導を継続していく。 また、城郭石垣については、定期的な動態観測を継続し、崩落の危険性が高い範囲を特定し、必要な措置を講ずることができるよう準備するものとする。		
状況を示す写真や資料等			
			
盛岡中央消防署による特別査察		大慈寺における防御訓練	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を実施する際には、事前協議の段階で遺跡の現況や過去の調査事例、工事の内容等により調査方法の判断を行った上で発掘届の提出を指導し、調査時期を調整の上、工事等の内容に応じて発掘調査を実施している。 調査により遺構等が確認された場合については、調査経費や調査期間等について協議を行い、岩手県教育委員会の指示・勧告のもと、引き続き適切な保護措置を講じるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
埋蔵文化財の取り扱いについては、文化財保護法93・94条に基づく埋蔵文化財発掘の届出・通知119件、本発掘調査4件、試掘調査20件、立会調査81件の対応を行っている。 埋蔵文化財の普及啓発としては、盛岡市遺跡の学び館において、企画展1回、テーマ展1回、埋蔵文化財調査速報展を1回開催しているほか、企画展や速報展の際には図録やパンフレットを作成した。(来館者12,142人 平成31年4月～令和2年3月まで)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		埋蔵文化財については、現地での案内や説明会、遺跡の学び館における展示会等を通して、普及活用を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
企画展ポスター		速報展ポスター	

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
青少年郷土芸能フェスティバル	令和元年9月2日	岩手日報	
盛岡城跡本丸発掘調査現地説明会	令和元年11月13日	盛岡タイムス	
文化財防火デーに係る火災防御訓練	令和2年1月27日	盛岡タイムス	
盛岡市歴史的風致形成建造物の指定	令和2年2月19日	盛岡タイムス	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月31日実施, 青少年郷土芸能フェスティバル 令和元年11月9日実施, 盛岡城本丸地区の発掘調査現地説明会 令和2年1月26日実施, 文化財防火デーに係る防御訓練 令和2年2月17日実施, 景観審議会 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	文化財の保存活用を進める上で, 市民の関心を高めていく必要があることから, 今後必要に応じて情報の発信に努めることとする。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>盛岡市青少年郷土芸能フェスティバル</p>			
 <p>文化財防火デーに係る火災防御訓練</p>			
 <p>史跡盛岡城跡本丸発掘調査現地説明会</p>			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針

計画に記載している内容
盛岡市における歴史的風致の維持及び向上を推進するため、本計画の第3章に記している、歴史的建造物の維持保全、市民の歴史文化への理解と地域固有の歴史文化の振興、史跡盛岡城跡の整備・活用、まちなみと良好な景観形成に関する方針に基づき、歴史的風致維持向上施設の整備又は維持・管理に関連する各種事業を推進することにより、その効果を市民や観光客が実感できるよう取り組むものとする。また、本計画の達成状況を評価するため、まちづくり評価アンケートにおける、「盛岡らしい景観が形成されている」「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合を成果指標としながら、事業の推進を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

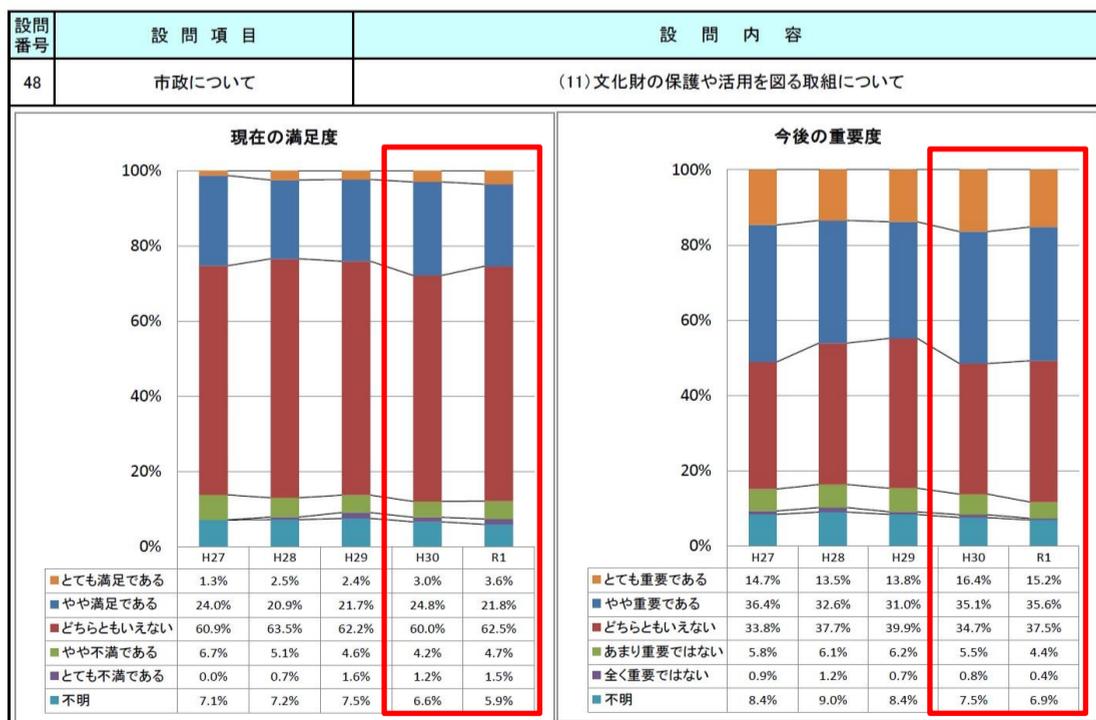
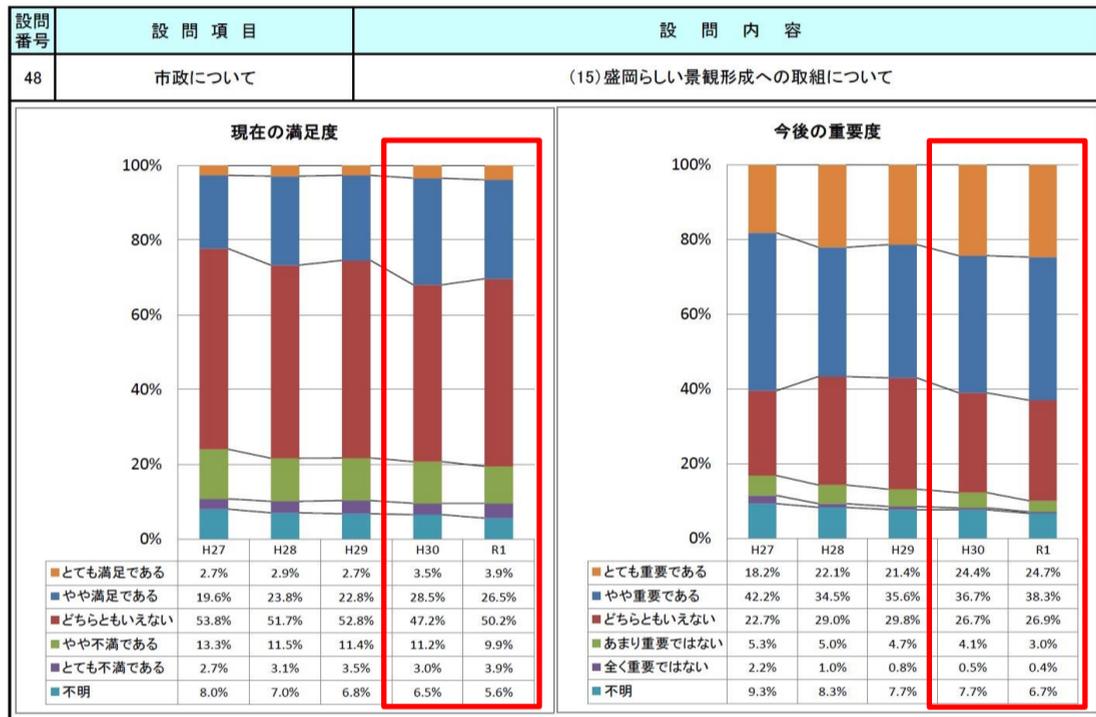
市民アンケートを実施し、景観形成・文化遺産に関する意識調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

住民意識については、計画策定後満足・重要と考えている割合が増加している。本計画における事業を効果的に推進することで、さらなる住民意識の向上や啓発につなげる。

状況を示す写真や資料等



評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第1回盛岡市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和2年3月25日(木)14:00~15:45	
(コメントの概要) 【協議事項 盛岡市歴史的風致維持向上計画の進捗評価】 ●進捗評価について ・全体的には、よくまとめられている。 ・長期的な計画に基づき各年次計画の実施状況の報告があり、評価する流れにできるのが望ましい。 ・進捗状況の評価する場合も、「計画を達成した」、「達成していない」、の他にプラス評価として「計画を超えて達成した」の評価も考えてほしい。 ・評価する対象は入札不調のように要因により、市がコントロールできるものと、できないものがある。 ●個別の進捗評価シートについて ・盛岡城跡保存整備事業(評価軸③-5)において、石垣修復は、入札不調・不落が続いているが、観光地でもあることから、抜本的な対応方法を検討し急ぐべきである。 ・市内民族芸能・祭礼継承支援事業(評価軸③-6)において、伝統の保存継承にあたって、後継者の不足などの課題もあることから、負担する運営経費の効果の検証や後継者の確保策について、運営団体とともに検討する必要がある。 ・歴史的建造物調査(評価軸③-8)の写真や資料欄には、調査状況の画像をいれるとか、盛岡市屋外広告物条例との連携(評価軸②-2)ではミーティング状況を入れるなど統一した見やすい工夫がほしい。 ・盛岡小さな博物館事業(評価軸③-11)事業内容について、もっと工夫すべきとの声が寄せられている。 ・無電柱化事業(評価軸③-12)において、本来の計画が示されていれば、計画通り進捗しているか、いないかの判断ができるはずであるが、元の計画が地元の説明されていない。 ・文化財の防災に関する方針(評価軸④-2)において、建物だけでなく街並みとして間口として見せる民具、古文書、古文献も含めた防災を考えてほしい。 ・市民アンケート(評価軸⑥-1)アンケートの中身がどのようなものか、どの事業に対するものか関連がわかりにくい。 ●その他 ・建造物の指定は、計画期間の10年の終わりに近づいてから駆け込みで増やすより、なるべく前倒しでやるべきであり、10年の後のことを見据えた計画を早めに立てるべきである。	
(今後の対応方針) ・計画期間でのスケジュールが示せる場合は、掲載する。 ・目標に対する当該年度の進捗状況を意識した評価を行う。 ・進捗状況の評価の際は課題と対応方針も記載する。 ・歴史的風致形成建造物の指定や各支援事業で前倒しで実施できるものがないか検討する。	